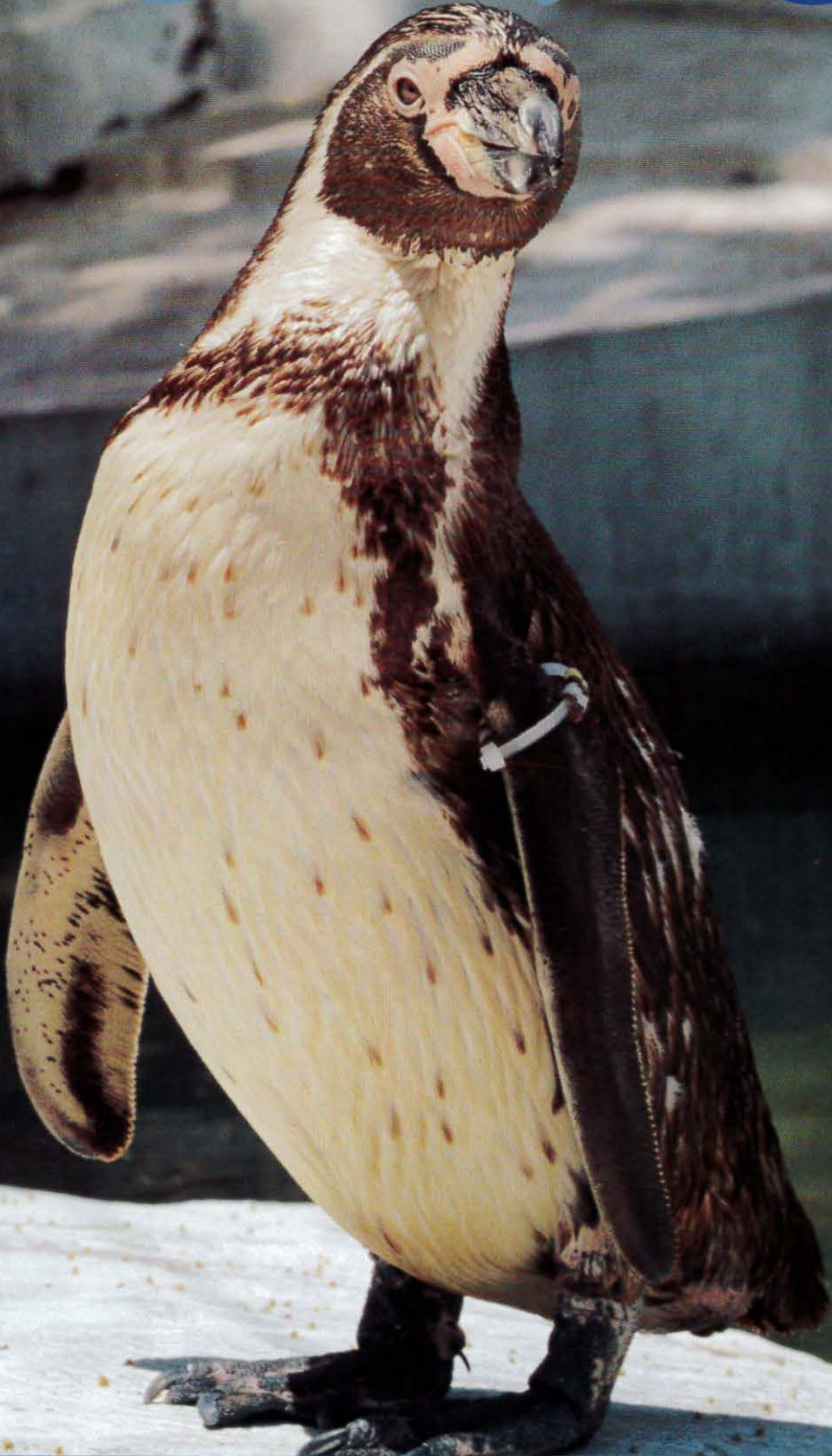


なきごえ

8

AUG.

2000



CONTENTS

New Face	フンボルトペンギン	長瀬健二郎	②
	動物とわたし	南ぬ風人 まーちゃん	③
カバーウォッチング	フンボルトペンギン	長瀬健二郎	
	サバンナの思い出 <前編>	内山 晟	④
完成したアフリカ・サバンナ区草食動物ゾーン <前編>		中川 哲男	⑥
グラフZOO	サバンナゾーンへお引越し	高見一利	⑧
獣医室から	アジアゾウユリ子死す	高橋雅之	⑩
	ZOO DIARY	高見一利 松岡秀和	⑪
	ZOO INFO	松岡秀和	



New Face

フンボルトペンギン

(ペンギン目 ペンギン科)

今年の2月22日に孵化しました。毎年フンボルトペンギンは数羽成育しているのですが、今年はこのヒナの他に3月14日に孵化した1羽の、計2羽が成育しました。体は一人前ですが、まだ両親に甘えてエサをもらっています。独立はもう少し先のことになりそうです。(撮影・文：長瀬健二郎)

動物とわたし

-どうぶつエッセイ-

ばい かじびと
南ぬ風人まーちゃん

(沖縄・島唄ミュージシャン)



青い空、青い海、そしてイリオモテヤマネコの島と言えば、そう、沖縄の西表島。私の出身地です。仕事の関係で大阪に住むようになり、島を外から見てみると、今までは見えなかったことが、新しく発見できるのです。人間というのは、身近であたりまえなことには気づかないものです。

島での生活。それはまさに自然との共生なのです。この大阪の街のような、人工的な音はなくなり、そのかわり自然の音がハーモニーになって聞こえてきます。波の音、木をゆする風の音、そして木の実や葉っぱが落ちる音。

ほら、メジロたちが鳴いています。遠くでは、カンムリワシが高らかに鳴いています。隣の家のニワトリも…。この鳥たちは朝からうるさいんです。田んぼの方では、牛や、ヤギさんがのんびりしています。よく耳をすますと虫たちがたくさん鳴いています。

島にはたくさんの生き物がいます。でも人は、彼らのことをどこまで考えているのでしょうか。ついこの前、道路でシロハラクイナの子供たちを見かけました。でもようすが変なのです。親鳥は、人が近づくと林へ消えたのに、子供たちが、ついて行かないのです。そうなんです。歩道と道路の高さのせいで、ひなたちは乗り越えられないのです。人は結局、人のための道しか造っていないのです。

あっ、アカショウビンがやって来ました。きれいな赤い鳥です。笑い声のようにかん高く鳴いて飛んでいきました。方言で「ゴッカラー」と言います。この鳥は敏感で、自然のある所にしかいません。

この鳥に出会うとうれしくなります。森に住む幸せの赤い鳥です。

自然のハーモニー、いつまでもあるといいな!!

■「南ぬ風人まーちゃん」の公式ホームページ
<http://www07.u-page.so-net.ne.jp/qg7/marchan/>



フンボルトペンギン

ペンギン目 ペンギン科 *Spheniscus humboldti*

Cover Watching

フンボルトペンギンは昔から日本の動物園で飼育されている、もっともポピュラーなペンギンの一つです。南アメリカのペルーとチリの太平洋沿岸部に分布していますが、現地では、その生息数に弱(カワ)りが見え、現在ではワシントン条約の附属書のIに指定されています。(撮影・文：長瀬健二郎)

サバンの思い出 前編

動物写真家：内山 晟



セレンゲティのアカシアの木々

私は1972年以来、少なくとも毎年1度は東アフリカに足を運びます。それはサバンナとサバンナに吹く風に魅せられたからです。もちろん、サバンナにすむ動物たちにもです。

50年前、山川惣治の「少年王者」を読んでアフリカに憧れました。主人公の眞吾少年がゴリラに育てられ、動物たちと会話を交わし、共に暮らすという血沸き肉躍る物語ですが、もう夢中になって読んだものです。

「大きくなったらアフリカに行くんだ」と固く心に誓ったのですが、凶鑑もなくテレビもなかった時代ですから、子供の頃の私にはアフリカがどこにあるのかも知りませんでした。夢の夢だったのです。

大学を卒業した私は動物写真を撮り始めました。1969年には、初めての海外取材にガラパゴスへ行ったのです。それからは、アフリカを除くいろいろな国の動物園の動物や野生動物を撮りに行っていました。

海外旅行をする自信がついた私は、ついに夢にまで見たアフリカへ行くことにしたのです。その頃はまだ1ドルが360円もした時代でした。

ケニアの首都ナイロビの空港に降り立った私は、抜けるような青空を見上げた途端、涙がこみ上げてきてなりません。子供の頃からの夢が実現したのです。

ナイロビは高層ビルが建ち、近代的な町でしたからアフリカへ来たという実感はありませんでした。でも、街から一歩出ると、そこには広々としたサバ

ンナが広がっていました。ナイロビからマサイ・マラ国立保護区に向かう途中にある大地溝帯を望む崖の縁に立ったとき、その広大さに感動し、そこにすむ数々の野生動物にこれから会えるのかと思うと、震えが止まらなかったほどでした。

初めて出会った動物が何かは覚えていません。でも、動物園で見ていた動物が、それ以上に愛しく思われるようになりました。出会う動物たちが懸命になって生きていたからです。サバンナにすむ動物には自由がありました。でも、それと引き換えに、死があったのです。食べられる死と獲物を得られずに飢える死でした。



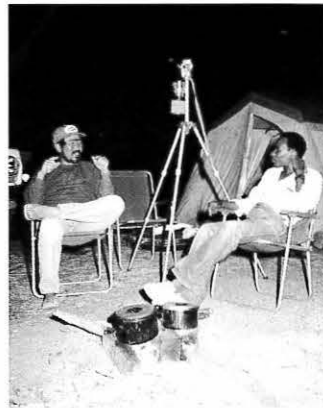
ボツワナでのキャンプ生活

若かった私は、車にテントを載せてキャンプ生活をしていました。豪華なロッジに泊まるとサバンナの空気に直接触れることができまいと思ったからです。

朝、日の出前にお茶を飲むとすぐに、サバンナに車を走らせ、時には昼飯抜きで日暮れまで動物たちと付き合っていました。空腹よりも動物たちといることを選んだのです。

もちろん、キャンプ場には囲いがあつたわけではありませんから、動物たちもよくテント近くまでやってきました。

どんな動物でも野生ですから、間近で見られるのは嬉しいのですが、手放して歓迎する訳にはいかないのです。



左■ケニア人のドライバーと
上■キャンプを楽しむ若き日の筆者
右■マラ川を渡るヌーの大群
4ページ下■雨期のマサイ・マラ国立保護区
下■乾期のインバラの群れ



夜、ライオンのほえ声がかんたん近づき、ついに、ライオンが走って来たことがありました。テントの中で酒盛りをしていた時のことです。テントの周りを走り回っていたかと思うと、テントのつりひもに足を引っ掛けて転んでしまったのです。ケニア人のドライバーと思わず笑ってしまいました。

真夜中に、枝の踏み付けられる音やゾウ特有のゴロゴロとお腹のなる音で目が覚めたことがありました。「やばい！」と、思って車に逃げようとしてテントの入り口を怖々開けると、時すでに遅かったのです。すでに、たくさんのゾウに囲まれていたのです。ゾウたちが、そこを通り過ぎて行くまでの時間の長かったこと、恐怖に震えていました。

ナイロビでたくさんの食料を買い込み、テントを張った日のことでした。サファリから帰ってきますと、10頭くらいのサバンナモンキーが、バラバラとテントの中から逃げ出して行くのです。慌てて、テントの中をのぞき込みますと、2週間分のジャガイモ、キャベツなどの野菜がほとんどありません。米もテント中に散らばっています。お正月用の大きな餅の缶詰も持って行かれました。苦々しい気持ちでテントの外に立った私は、彼らの去った方に向かって怒鳴ってやりました。

「缶切りは要らないのかー！」
サソリが靴の中に入っていたこともありましたが、でも、一番怖かったのは、ドライバーとテントを片付けていたら、テントの下にブラックマンバという大きな毒蛇がいた時でした。そこで2週間もテント生活していたのですから、どのくらいの期間、彼と一緒に生活したのか分からなかったのです。今でも、

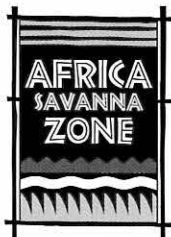
その時のことを思い出すとゾッとします。でも、こんな恐ろしいことばかりではありません。地平線から太陽が昇り、地平線に沈むという広大なサバンナを独り占めできるのもテント生活だったからです。

満月の月明かりは、本が読めるのかと思うほどに明るいのです。周囲に明るい照明がないのですから、星空のきれいなことも信じられないほどでした。天の川を始め、すべての星が手を伸ばせば届くくらい近くで輝いているのです。

サバンナといっても木や草が疎らにはえている乾燥地帯や緑豊かな川べりもありましたし、アフリカで一番高い山、キリマンジャロが一望に見える草原もありました。

どこへ行っても見られる動物もいましたし、そこへ行かなければ見られない動物もいました。だから、私は、1カ所に2、3週間ずつ、あちこちを泊まり回っていました。季節によっても違いました。サバンナには四季はありません。大雨期、大乾期、小雨期、小乾期と移っていくのです。大雨期にはとてもサバンナには入れません。道はぬかり、時に川となり、たとえ四輪駆動の車ですら走れないのです。でも、この時にはたくさんの草食獣が子供を産みます。大乾期の時には伸びた草が枯れ、小さな動物は隠れてしまっで見られません。でも、ヌーの大移動があるのはこの時です。小雨期には見渡す限り緑になります。小乾期はあまり埃がたたくさず過ごしやすいのです。いつでも、サバンナは私にとって魅力的な場所なのです。次回は、そこで出会った動物たちの話をしましょう。(うちやま あきら)





天王寺動物園では、平成12年3月15日に1年6ヵ月を擁したアフリカ・サバンナ区草食動物ゾーンが完成し、引き渡されました。その後、追加工事、動物の移動、搬入、馴致、植物の養生などに5ヵ月を擁して、いよいよ8月末に公開する予定です。この号と次号ではサバンナ完成までの様子をお知らせしましょう。

1.基本コンセプト

アフリカ・サバンナ区草食動物ゾーンの基本コンセプトはランドスケープ・イマージョンの概念に基づくもので、展示する動物が実際に生息する環境を努めて再現し、共生共存する他の動物、植物とともにその関係を理解し、その展示空間に入園客も一体となって臨場感に浸ることを目的とするものです。

(1) 展示方針は

現地アフリカのセレンゲティヤマサイマラの保護区をモデルにしたランドスケープの再現、臨場感の醸成、生息地保護の重要性と環境問題の認識、展示空間からの多様な情報を五感で理解認識することを目的としています。

(2) 展示テーマは

草原を中心に河畔林、湿地、疎林、岩山など、サバンナ景観の多様性を展開し、生態系を構成する動物、植物と地質、地形の関連を訴え、植物から動物への食物連鎖や棲み分け、食い分けの適応並びに生態的地位を理解することとしています。



現地調査をしたシアトル・ウッドランドパーク動物園

2.現地調査と先進動物園調査

生息環境をより忠実に再現し、正確な情報を発信し、一体感や臨場感を演出する生態的展示を構成するためには、現地調査が必要とされます。今回のサバンナ区草食動物ゾーンでは設計を委託した建築・造園コンサルタントとランドスケープ・アーキテクトを兼ねる学識者に計画のモデルとするケニア、タンザニアの調査を依頼しました。

調査は主にケニア・マサイマラ野生保護区、タンザニア・セレンゲティ国立公園などを中心に5ヵ所を調査しました。ここでは動物の生態、行動、習性はもちろん、群れ構成、食性、フィールドサインなどを観察調査し、植物も植生分布、動物との共生状況などを調査しました。このほか地質、地形、地層、河川、池沼の状況、気候条件なども含め幅広く調査しました。

先進動物園の調査では主に北米のブロンクス動物園をはじめとする10ヵ所の動物園を視察し生態的展示を主とする展示造景とサイン、動物舎の構造、園路動線等を中心に調査しました。

3.サバンナを構成するもの

一般にサバンナというと広大な草原にキリン、シマウマ、アフリカゾウ、ライオンなどが群れで生活している風景を連想する人が多いように思いますが、サバンナは動物、植物のみならず地質、地形、地層、気候などが関係しています。まず、アフリカ大陸の東を北から南に縦断する大地溝帯の一部としての段丘崖、カピーと草原、疎林、池沼、河川、湿地、河畔林などがサバンナの地形的なものを構成し、これに自生する草本、低木、中高木に対し小型のガゼル、シマウマ、ヌー、エランド、キリンなどがブラウジング(枝葉食い)やグレージング(草食い)を行い、草原の草丈の形状や樹木の形を整えます。また、ゾウが木を倒し、かわ剥ぎ、牙研ぎなどを行い、これらもサバンナの景観を構成します。このほか乾季の野火による広大な草原火災も草原の新陳代謝を促し、サバンナの景観構成の重要な一部分となっています。

4.サバンナ区草食動物ゾーンの建設

(1) 工事の前処理

工事対象の区域には既存のカバ舎、サイ舎、走鳥舎、シマウマ舎、小獣舎、フクロウ舎などがありましたが、着工前にすでにカバ舎、サイ舎は平成9年、10年に建替え新設し、ダチョウ、エミューなどの走鳥類はカモシカ園を改修し、移動しました。

その他も新設移転や譲渡により面積を確保し、北園の1/3を占める面積を鋼板扉で囲い、工事に着手しました。

(2) 環境対策

ア. 資源のリサイクル利用：最近の資源を大切に省資源リサイクル施策から解体撤去される既存のカバ舎、サイ舎のコンクリート廃材は「ガラパゴス」と称する大型破砕機で粉々にされ、盛土の基盤として再利用しました。

イ. 屋上緑化：限られた面積でサバンナの景観を造成するために動物舎は努めて低く目立たないように心掛けました。しかし、地下、半地下構造にするとドライエリアなどの余分な面積が取られサバンナの草原の面積が削減されます。そこでいくらか天高を抑え放飼場と一体感を持たせるため屋上緑化を取り入れました。キリン舎については高すぎるために断念しましたが、倉庫については放飼場と一体的に、草食動物舎はサブパドックを挟んで盛土擁壁を立上げ動物舎を遮蔽しました。

建物の屋上緑化はドイツなどヨーロッパでは盛んで、屋上緑化することで階下が2~3℃下がるといわれており、クリーンな空気の提供や光熱費の節約は省エネ、温暖化防止に一役買うことにもなると考えられます。

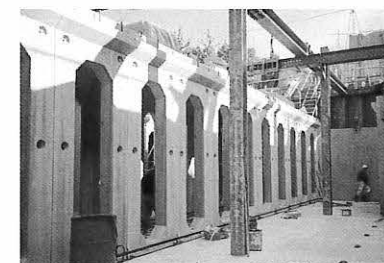
ウ. 雨水の利用と浸水対策：大阪では梅雨の時期以外に年に数回、豪雨に見舞われます。特に天王寺動物園は東に上町丘陵に接し降雨時に大量の雨水が鉄砲水の如く流下して度々隣接地域に浸水被害をもたらします。このため今回のサバンナ工事では予め地

工事着工	平成10年9月25日		
竣工引渡	平成12年3月15日		
敷地面積	9,370m ²		
建築工事	キリン舎	380.73m ²	延床面積 416.75m ²
	草食動物舎	201.00m ²	延床面積 201.00m ²
	倉庫	209.75m ²	延床面積 209.75m ²
外構工事	草食動物放飼場	3,750m ²	
	フラミンゴ放飼場	300m ²	
	シマングース放飼場	40m ²	
	サブパドック放飼場	520m ²	
	大池	280m ²	
	流れ	70m ²	
植栽工事	雨水貯留槽	1,000 t	
	5,960m ²	(高木610本、低木5,000株、草本地被4,000m ²)	
盛土工事	盛土高さ	*GL 4.2m	
	盛土量	12,000m ³	

*GL:地盤高



環境にやさしく、廃材も再利用する大型粉砕器 (98年12月)



地下に広大な雨水受水槽 (99年2月) さまざまな工夫が施されている

下に1,000tの雨水貯留槽を設置し、浸水被害を防ぐことにしました。

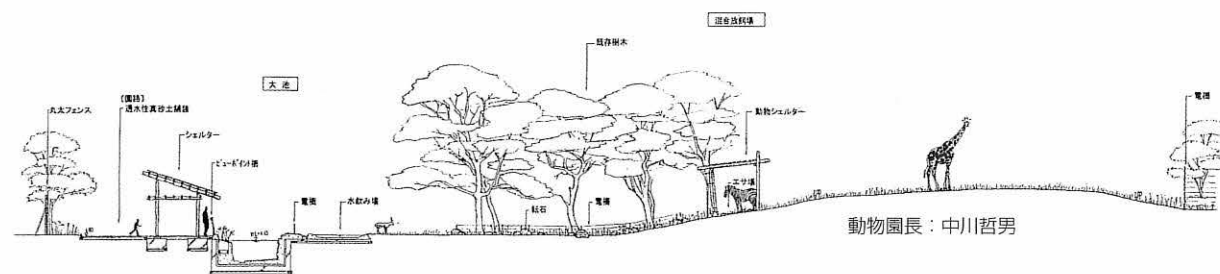
貯留された雨水は近い将来に植栽の灌水に利用したり、便所の洗浄水に利用したり、消火用水に利用することを考えています。

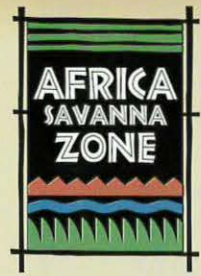
このほか雨水を還元させるため園路に透水性舗装を施しています。従来ですと自然の恵みである雨水がアスファルト舗装のためすべてが下水管へ流れていましたが、最近はインターロッキング舗装を広範囲に取り入れ、樹木に雨水を還元しています。特にサバンナゾーンの園路では水の透過性もよく、足にやさしい軟らかい感触を感じていただくため真砂土にセメントを混合し、てん圧しています。見た目も自然な感じで好評を博しています。

(次号に続く)

完成した アフリカ・サバンナ区草食動物ゾーン

前編





サバンナゾーンへ お引越し

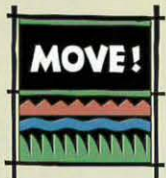
この春、新しく完成したアフリカ・サバンナ区
草食動物ゾーンに、大型動物が引越しました。
家財道具もなく身一つの引越しとはいうものの、
大きいだけになかなか大変です。

キリン、エランド、シマウマの引越しの様子を
ご覧いただきましょう。

飼育課：高見 一利



アミメキリン



お引越し中!

アミメキリンの引越し
です。木檻に誘い込
みクレーンで吊り上げ
ました。

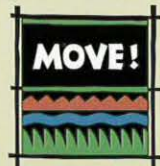


木檻の中で、
ちょっと不安…。



エランドも木檻に誘い込んで
トラックで運びました。

エランド



お引越し中!

新しいところにも
ちょっと不安…。



エランドは
ウシのなかまだよ



トラックで新居に
向かいます。



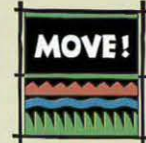
首を
長くして
待ってたかいが
あったね!

すよん
と一息…。



無事新居に到着!

グラント シマウマ



お引越し中!



グラントシマウマは麻酔で寝ている間に引越しました。



目が覚めたら新居です。

きれいな
ところでしょ





from **Vet Room** 獣医室から

アジアゾウ ユリ子死す

No.78

飼育課 高橋 雅之

その日の朝、ユリ子の死を伝えられたときにわかには信じられませんでした。昨日の朝、運動場に出す際の作業に立ち会ったときには特に変わったこともなく元気になっていたからです。そして、これから行わなければならない作業を考えて、一瞬呆(ぼう)然としてしまいました。およそ、4トンもある動物を解剖し、なおかつ、その死体の処理もしなければならないのです。

ゾウ舎に行ってみるとユリ子は自分の寝室で北の方向に頭を、4本の足を東の方向に投げ出して横になっていました。体に触れてみるとまだぬくもりが残っていますが既に死亡は動かしがたいものでした。口や鼻の穴、肛門などから出血していないか、その他の異常がないかを調べ、検査のために血液を採取することにしました。普通、ゾウの採血は耳の静脈からとることが多いのですが生きていたときのように太く張ってはいません。何度か試みましたがうまくいかず結局おなかの皮膚の静脈が浮き出たのでここから採血しました。採血した血液は動物病院で一部を細菌がないか顕微鏡検査し、残りはさらに詳しい検査をしてくれる専門の検査施設に渡しました。さて、いよいよ解剖の準備ですが、ユリ子は推定でおよそ4トンも体重があるため、動かすことは不可能です。また、生々しい解剖の様子をお客様の目に触れさせるわけには行きませんので、すぐさまユリ子の寝室前の運動場に工事用の塀を作り、隣の春子の寝室のシャッターはほとんど閉じてお客様からの目隠しにしました。また、作業をしやすくするためにユリ子の足などを持ち上げられるよう寝室の天井にチェーンブロックを取り付



左：ユリ子、右：春子

ける作業を行いました。午前中はこれらの準備に当たると同時に休暇を取っている獣医師全員に召集をかけ、また近隣の神戸市王子動物園や京都市動物園などの動物園、大阪府立大学獣医病理学教室にも応援をお願いしました。解剖は午後1時より開始することになりました。

午後1時には外部からの応援も入れて数十名の人数が集まりました。現場のユリ子の寝室は春子およびラニー博子の寝室とそれぞれ隣り合っておりゾウの飼育担当者が解剖作業にあたる我々の間に安全確保のために入りゾウの監視をするなかで作業が始まりました。まず、体長や体高、尾長を測りました。体重は直接は計ることができないため切り出した部分ごとに個別に計り記録して後で合計することにしました。ゾウの皮膚は大変厚くかつ硬いのでメスの刃がなかなかたちません。それでもやっと皮をはいで、足をきりはなし、内臓を取り出す作業を進めていきました。取り出した内臓はさらに顕微鏡で詳しく調べるため小さく切り取られてホルマリンの入った標本瓶に保存されて

行きます。重量などの測定がすみ、異常がないかチェックを受けた部分はどんどん動物病院のほうに運ばれて行きます。飼育課ばかりでなく管理課のスタッフ、外部からの応援も得て総がかりで作業にかかったおかげで、夕方6時過ぎにはユリ子の寝室は何事もなかったかのように片付けられ清掃・消毒も完了しました。解剖の結果、おおむね栄養状態も良く、いくつかの病変が見つかりましたが、直ちに死の原因につながるようなものはありませんでした。ユリ子は生前大量に血の混じったおしっこをすることがあり、子宮などの生殖器に腫瘍などの病気を持っているのではないかと想像していましたが、解剖の結果卵巣のう腫、子宮筋腫などが見つかりました。

ユリ子の解剖記録からその巨大さを示す数字を表にしておきます。ユリ子の死が報じられると保育園の園児たちをはじめ多くの方々からお悔やみの言葉をいただきました。どうもありがとうございました。

ユリ子の解剖記録からその巨大さを示す数字を表にしておきます。ユリ子の死が報じられると保育園の園児たちをはじめ多くの方々からお悔やみの言葉をいただきました。どうもありがとうございました。

外部計測	体長	3.4m
	体高	2.8m
	尾長	1.16m
	体重	3,731kg

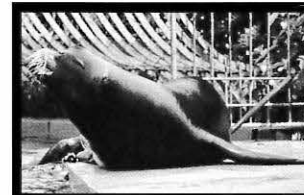
年齢	種・性別	アジアゾウ雌
	年齢	推定51歳
	飼育年数	50年
	原産国	タイ

主要臓器の重量または長さ	心臓	19.8kg	腎臓	左4.5kg
	肺	58.4kg		右4.5kg
	肝臓	45.0kg	小腸	20m
	脾臓	9.2kg	大腸	10m
	膀胱	2.2kg	盲腸	0.9m

6/1 ●ヒツジの毛刈りを行いました。毎年衣替えのこの時期に行います。



6/3 ●オスのカリフォルニアアシカ、ナポレオンが死亡しました。ナポレオンは1980年に当園で生まれ、長年にわたりアシカ池のボスとして人気を集めてきました。



6/8 ●フライカワセミが1羽ふ化しました。28日にも1羽がふ化しました。ふ卵器を使い、人工的にふ化させました。

6/10 ●当園飼育係によるお話「ペンギンさんの一日」を開催しました。

6/11 ●京都動物園より園長他一名が来園・見学されました。

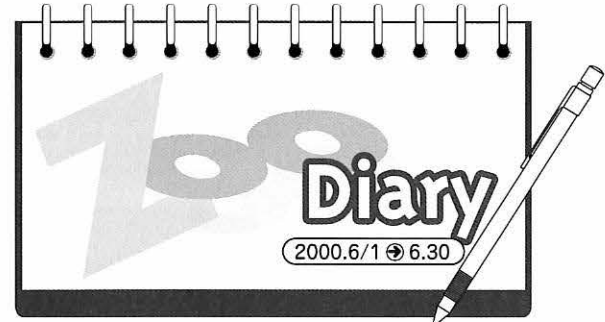
6/14 ●人工哺育で育てているシシオザルの赤ちゃんの、一般公開をはじめました。



6/17 ●中国沈陽市の森林野生動物園視察団の10名が来園・見学されました。

6/18 ●当園獣医師によるお話「今年生まれの赤ちゃん」を開催しました。

6/20 ●大阪市天王寺動物園協会の総会が行われました。本誌「なきごえ」を発行している(社)大阪市天王寺動物園協会の平成12年度通常総会が開催され、磯村会長の挨拶のあと、各議案について審議、原案どおり満場一致で承認さ



6/23 ●オスのアマメキリン、ナガヤが死亡しました。ナガヤは1983年に多摩動物公園で生まれ、1985年に来園して以来多くの子供を残しました。

6/24 ●トウハコガメが2頭ふ化しました。

6/25 ●鹿児島県出水市ツル博物館より学芸員1名が来園しました。

6/25 ●当園飼育係によるお話「カバさんの一日」を開催しました。

6/25 ●クロサイとカバの子供の命名式を開催しました。当園で昨年生まれたオスのクロサイは両親の名前から1字ずつとって「サミー」、昨年メキシコから来園したメスのカバは、もとの名前を呼びやすくした「ティーナ」と名付けられました。

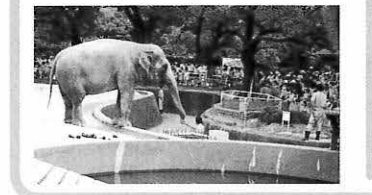


6/26 ●オスのオランウータン、ブルの定期健康診断を行いました。

6/27 ●エリマキキツネザルのメス1頭が日本モンキーセンターから贈られてきました。検疫が終わればサル・ヒビ舎にいるオスとペアを組む予定です。

お知らせ

●ゾウの春子にリンゴのプレゼント
日時 9月15日午後1時30分から
場所 ゾウ舎



- ☆「動物君たちの一日」朝の展示から夕方の収容までのふだん見られない様子をビデオで担当キーパーがお話をします。
9月9日(土): 爬虫類生態館の裏表 9月23日(土): コアラ君の一日
- ☆「日本語のビデオマンガの放映」
9月2日(土)・9月16日(土)・9月30日(土)
- ☆「動物写真講座」9月17日(日): 講師・内山 晟先生 午後1時~
(参加ご希望の方は往復はがきで、天王寺動物園宛にお申し込みください)
(住所: 〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町1-108) 参加費 1,500円
●場所: 天王寺動物園園内レクチャールーム 先着60名様 ●時間: 午後1時30分
- ☆詳しくは天王寺動物園事務所までお問い合わせください。
(TEL. 06-6771-8401)



愛ある暮らし、応援します。

Kintetsu

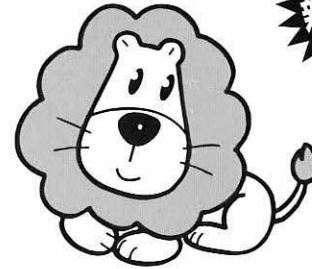
近鉄百貨店

FUJIFILM
I&I-Imaging & Information

新発売

楽しいショットを
3つのサイズで。

ADVANCED
PHOTO SYSTEM



FUJICOLOR スーパー
スリム
APSフィルム使用

切替

撮影シーンに合わせて、
標準・ハイビジョン・パノラマのサイズを自由に切替。

- スーパースリムの手軽さにプリントサイズ選びの楽しさプラス。
- APSフィルムだからインデックスプリントも。
- 切替はファインダーも連動、見たままのフレームでパチリ。

カラの大林

桜橋本店 ☎6341-8091
阪急三番街店 ☎6372-5031



こどものずかんシリーズ

① どうぶつえん

26.5×21cm 各巻定価 本体1,000円(税別)
全国学校図書館協議会選定

動物園にはいろいろな動物を見ることができます。
ただ、単に見るだけではなく、その動物の特長や生態、
何を食べているか、またその仲間たちはどんなものか
いるかがこの本でわかります。さあ、この本を持って
もう一度動物園へいってみよう。

お求めは、お近くの書店で。

ひかりのくに株式会社 本社/〒543-0001 大阪市天王寺区上本町3-2 TEL.06-6768-1151代表

狼と生きて

父 平岩米吉の思い出



平岩由伎子[編著] ●新刊
3,500円+税 ●限定1000部
狼と犬と猫の生態を研究し、動物文学
をはじめて世に紹介した平岩米吉
の波瀾に富んだ創造性豊かな生涯を
娘の眼から深く描く。
夏の旅の思い出、ふしぎな巡りあわ
せ、動物画家・大崎善司、日本好き
のスター博士など、名品を掲載。

平岩米吉の本

狼 その生態と歴史
2,600円+税

犬と狼

●2刷出来 2,500円+税

犬の生態

●6刷 2,000円+税

犬の行動と心理

●4刷 2,000円+税

私の犬

2,200円+税

猫の歴史と奇話

2,200円+税

動物文学 復刻版 [全10巻+補巻・索引]

174,757円+税 ●限定300部(分売不可)

南方熊楠、柳田国男、小川未明……錚々たる執筆陣が数々の作品・論考を寄稿し発表した幻の戦時中資料。

築地書館 〒104-0045 東京都中央区築地7-4-201 TEL.03-3542-3731 FAX.03-3541-5799 (発送料一律400円)
●ご注文は、最寄りの書店または直接上記宛先まで。E-mail Address=JDH07647@niftyserve.or.jp

貸出用ビデオ「楽しい天王寺動物園」
19分(10本常備)

- 対象/保育園・幼稚園・小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸出料/無料(但し郵送料510円は必要)
- 申込先/当協会まで手紙かハガキでお申込下さい。

コアラテレホンカード(限定販売)
好評発売中 ¥800(50度用)

天王寺動物園の本

入園の記念・手引に……



オールカラー
500円 園内売店にあります。

大阪市天王寺動物園協会 〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)6771-0201



マスターのポップコーン

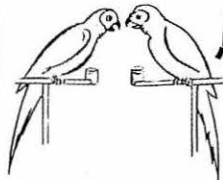


〈営業品目〉 製造機械・保温機 他
生コーン・袋詰ポップコーン・原材料一式

〒561-0856
(株)増田食品 大阪府豊中市穂積1-10-30
TEL.(06)6865-0165



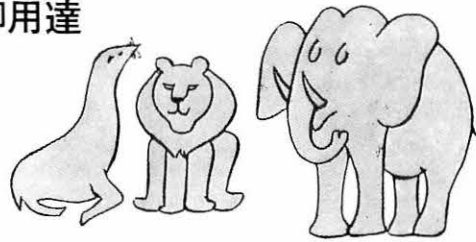
近畿 コカ・コーラ ボトリング 株式会社
KINKI COCA-COLA BOTTLING CO., LTD. <コカ・コーラ指定会社>
Coca-ColaとCokeはThe Coca-Cola Companyの登録商標です



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円



有限会社 吉川商会

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

電話(078)221-8195(代)

たのしい動物のお話は、
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎
30数ヵ所にあります

関西特機株式会社
電話06-6762-2333
1回 30円

動物園内での
お食事、
ご休憩は



動物園内.....

中央売店

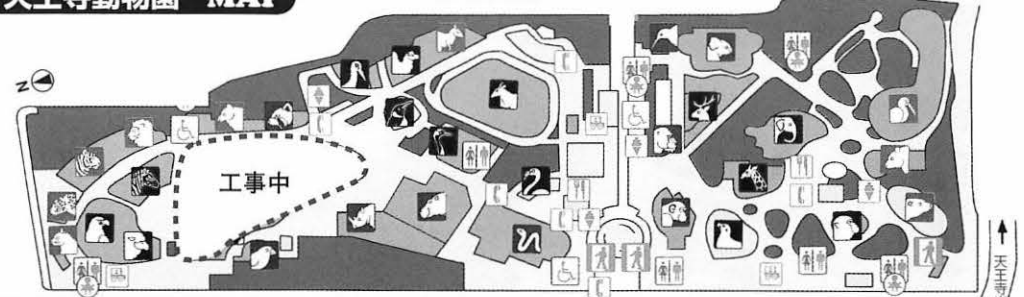
TEL06-6771-0973

お食事・飲み物・おみやげ 動物園内
南園売店 TEL06-6771-7110



天王寺動物園 MAP

天王寺公園



阪神高速松原線

動物園入口

- 入園料 動物園/大人500円 公園/大人150円 中学生以下、65歳以上無料
- 開園時間 午前9時30分~午後5時(入園は4時まで)
- 休園日 毎週月曜日(月曜日が休日に当たる場合は翌日休園)

大阪市天王寺動植物公園事務所 〒543-0063大阪市天王寺区茶白山町1-108 TEL.06-6771-8401



中央デッキ下



久竹娛樂株式会社
TEL (06) 4397-0100 (代)

一日、愉快地 たのしめる

◎園内2カ所 (中央デッキ下・南園高架下) に、各種のりものがあります。



南園高架下

● 編集委員 ●

中尾啓一/中川哲男/石井 等/藤田四郎/沖田紀行/山崎道正/長瀬健二郎/谷森 進/橋本泰幸/森本委利/高橋雅之/市川久雄
竹田正人/高見一利/西 康弘/田中 龍治/溝 勇二/松岡秀和/坂本 全/森岡伸晃/野口秀高/大野尊信/早川 篤/西村慶太/油家謙二